



## みんなの知人など紹介して仲間を増やそう 第20回大会 目標は40人の分会

11月27日、瀬戸市文化センター第12会議室において愛知分会第20回定期大会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症は、今年5月より感染症法上の位置付けを「2類相当」からインフルエンザと同じ「5類」に引き下げられましたが、インフルエンザも大流行している中、感染防止を万全に行いました。藤岡健三執行委員による開会挨拶からはじまり、この1年間に亡くなった2名の組合員に対して黙祷をしました。

大会議長には寺川哲夫さん、資格審査委員に加藤利雄さん、田中良秀さん、選挙管理委員は赤羽平吉さんが選出されました。

挨拶する松原委員長



松原委員長の挨拶に続いて、来賓として、北信越労職合同支部から4年ぶりに橋本書記長に来ていただき、激励の挨拶をいただきました。

また、私たちの大会に、北信越労職合同支部・富山分会・石川分会・新潟分会・長野分会・名南地域支部・常滑競艇支部・学童保育支部・保育パート支部など9支部・分会よりメッセージが寄せられました。そのうちの1通を古里書記次長が読み上げ、支部・分会名を紹介しました。

2022年の活動報告、会計決算報告・会計監査報告がされた後、2023年度の運動方針が提案され、今年度も組合員からの紹介と健康相談会などの開催で40名の分会をめざすことが提案されました。

質疑・討論では、トンネルじん肺根絶訴訟7陣の原告田中良秀さんが、「昨年原告に加わり、2月

1日に東京地裁に提訴しました。それから何度も東京の議員会館に出向き、要請行動をしましたが、肺炎になって4月26日の和解日には行くことができず残念でした。こんなに早く解決できたのもみなさんにご支援を頂いたお陰です」と、お礼を述べました。同じくトンネル建設現場で働いて、現在難聴の申請をしている森下薫さんが、初めての参加で挨拶しました。

質疑・討論で発言する森下さんと田中さん



その後、議案はすべて採択され、役員選挙では、下記の通り新役員が決まりました。新執行部を代表して、松原委員長は「新執行部一同この1年間、力を合わせて頑張ります」と力強く挨拶しました。

2023年度 新執行部	
執行委員長	松原義弘
副執行委員長	加藤利雄 佐々木信治
書記長	石村ひろ江
書記次長	古里和真
執行委員	寺川哲夫 池野恵 赤羽平吉 田中良秀
会計監査	藤岡健三 河合鉄一





# みんなのひろば

## 可愛いクリスマスの人形たち



店先にクリスマス用品が並び始めました。心躍るアイテムが盛りだくさんです。ジングルベルの音楽がムードを盛り上げます。

## 今年も良く咲いた「たますだれ」



たますだれは細長い葉と、真っ白な6枚の花びらが一斉に、夏から秋にかけて開花します。

### 12月の予定

- 6日 アスベストシンポジウム
- 17日 県本部 執行委員会
- 20～21日 北信越執行委員会
- 24日 県本部 クリスマス平和宣伝

## ご案内

- ※ 分会第1回会議  
日時は決定次第、分会ニュースにて連絡

## 春闘中央討論集會に参加 分散会では 基金制度の実現に向けて

11月25日と26日にホテルサンバレーにて建交労中央春闘討論集會が開催されました。

1日目の分散会では『トンネル基金制度の実現』と『トンネル作業現場の法令遵守による作業環境改善』が討論され、特に8時間労働の法令順守については長期的視点が必要として幹事会で進行することが決まりました。

トンネル基金制度の実現に向けては、1月に発行予定の『命の絆 3 上巻』を活用して広く訴える方針が議論されました。活用に際し若手専従者の学習が必要との意見が出ました。学習会の開催形式や内容にも検討があり、オンライン主体での開催が確定し、資料作成や紹介文の作成が必要とされました。

全体討論ではクロネコヤマトに関する意見が中心で、組合員の有無や声の拾い上げについて全労連と連携して対策を検討することが提案されました。森谷副執行委員長は神奈川のダンプ支部が中心になりつつある中、一体となって取り組むことが重要だとまとめられました。

### 分散会のまとめの発言をする古里書記次長

